

## ニコニコ箱

福井 RC ステータスありますね。参加させて頂き、嬉しく思います。  
(丸岡 RC / 三寺康信様)

高木副会長、おめでとうございます。  
(江守康昌)

佐々木さん、卓話お疲れ様でした。  
(石川浩基)

坂川さん、ご入会おめでとうございます。佐々木さん、卓話ありがとうございました。  
(岩見祐樹)

佐々木さん、卓話ありがとうございました。坂川さん、よろしくお願ひいたします。  
(大谷諭史)

クリスマスパーティーの写真ありがとうございます。(加藤幹夫)  
今年もよろしくお願ひします。  
(角谷恒彦)

今週の地区財団セミナーより、次年度平野ガバナーアイデアが発表されました。  
(清川卓二)

伝統と格式のあるロータリークラブに入会させていただき、ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。  
(坂川佳之)

渡辺さん、クリスマス家族会の写真、ありがとうございました。  
(清水則明)

坂川さん、ご入会おめでとうございます。  
(高木義秀)

いつもありがとうございます。  
(竹下耕輔)

坂川さん、ご入会おめでとうございます。一緒に頑張りましょう。  
(辻橋清和)

佐々木さん、頑張ってください。  
(中田善弘)

新年例会ありがとうございました。渡辺さん、クリスマス家族会のお写真ありがとうございました。  
(新田義和)

佐々木さん、卓話楽しみです。  
(林 明美)

佐々木さん、卓話お疲れ様でした。  
(平田 制)

新入会員の坂川さんを推薦できて大変嬉しいです。(吉岡正盛)  
先週、欠席しました。改めまして、新年おめでとうございます。  
本年もよろしくお願ひいたします。  
(渡辺和男)

高原一祥  
【皆出席御祝】須賀原和広  
【誕生日御祝】小野田亮

誕生日御祝 / 53 才 独身。頑張ります。  
(石丸敦士)

【配偶者誕生日御祝】 奥村隆司・片山 元・瀬川裕司・  
高橋宏幸  
結婚記念日御祝 / 感謝。(竹澤文孝)

各 君

## ロータリー財団増進特別寄付金

オーランドのガバナーエレクト国際競技会から日曜日に帰国しました。大変なスケジュールでホテルから一步も出れませんでした。  
(平野洋一)

坂川さん、ようこそ福井 RC へ。  
(江守康昌)

ひと晩行方不明になった財布が無事に戻ってきました。人々の優しさに改めて触れました。  
(出雲路康照)

高木さん、「日本医療研究開発大賞」受賞おめでとうございます。  
(上田祐広)

坂川さん、入会おめでとうございます。佐々木さん、卓話ありがとうございました。  
(寺本光宏)

高木エレクトの大蔵表彰をお祝いして。佐々木会員の卓話が楽しみです。  
(野村直之)

あけましておめでとうございます。木村さんと一緒にになったので。  
(山内鴻之祐)

各 君

## 米山奨学特別寄付金

佐々木さん、卓話ありがとうございます。ユアーズさんにいつもお世話になります。  
(江守康昌)

坂川さん、ようこそ福井ロータリクラブへ。  
(田中秀也)

坂川さん、福井ロータリクラブへようこそ。  
(西澤雄三)

加藤幹夫・山岸恒一  
各 君

## 2026年1月22日 第3655回

出席報告	● 現在会員 141名
	● 出席者 78名
	● 欠席者 50名
	● 出席免除者欠席 13名
	● 今回例会出席率 60.9%

例会修正出席率	12月18日
	● メークアップ 35名
	● 欠席者 25名
	● 修正出席率 81.1%

● メークアップ 長谷美左子(1/13 地区ローターアクト委員会)、城戸利枝(1/19 地区 財団補助金管理セミナーファシリテーター勉強会2回目、1/22 地区2025-26年度 第4回 国際奉仕委員会)、平野洋一・清川卓二・城戸利枝・野村直之・木村佳美(1/24 地区2026-27年度 R財団補助金管理セミナー)、竹澤文孝(1/25 地区第2回青少年奉仕担当者会議) 各君

## 例会報告

## 入会セレモニー



**坂川建設（株）代表取締役専務  
坂川 佳之 会員**

本日、伝統と格式のある福井ロータリークラブに入会することができ、大変嬉しく思っています。

まだまだ学ぶことばかりですが、ロータリーの活動に前向きに取り組んで行きたいと思って言いますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。



## 報 告

1月24日(土)2026-27年度「地区ロータリー財団補助金管理セミナー」が、リーガロイヤルホテル京都にて開催され、クラブより平野洋一ガバナーエレクト、清川卓二幹事長予定者、城戸利枝グローバル補助金委員長、野村直之財団資金推進・大口寄付委員、木村佳美R財団次年度担当理事の5名が出席されました。



## 会員卓話



**佐々木 公啓 会員**

日頃皆さまには、福井RCの例会でのご利用をはじめ大変ご愛顧いただき誠にありがとうございます。心より御礼を申し上げます。

本日は卓話という形でこのような貴重なお時間をいただいております。

RC会員のみなさまにはご存じの方も多いかと存じますので、

1. ユアーズホテルの、少し特殊なおいたち（銀行との関係）
2. 北陸新幹線開業に合わせた福井駅前再開発との関連
3. ホテルフジタ福井の運営に至る経緯などを中心に、お話し申し上げたいと考えております。

どうぞよろしくお願い致します。

ユアーズホテルフクイは、昭和54(1979)年5月25日(金)福井市中央1丁目(現在のフクマチプロックの場所)にオープン致しました。

開業当時の全体像は、地上10階、地下2階。1階、地下1階は、名店街(飲食街)、2階に福井銀行大手町支店、3階~5階にレストラン、宴会場、結婚式場、6階~10階が客室65室という設備でした。

当時、福井県内には本格的なフルサービスのホテルは無く、政財界からは、VIPも集まる社交場が必要との声に応える形で、オープンを迎えました。

新聞記事左上、当時の福井銀行の「市橋督」頭取が、ユアーズホテルフクイ取締役会長として、挨拶を述べられております。

このようにユアーズホテルフクイは、福井銀行のオーナー家(市橋家)がリーダーシップを取り開業にこぎつけたホテルでした。

グランドオープンに先立って、5月21日に開店披露パーティーが催されました。

市橋督さん(ユアーズホテルフクイ取締役会長)が、福田前総理大臣をお出迎えされている様子です。ご参加のみなさまからは、「福井市に帝国ホテルができるかと思った。アメリカ大統領が訪れてもビクともしない」「竜宮城かパリのベルサイユ宮殿のような豪華さ」「市橋さんは良いところに目をつけられた。このホテルは福井市の発展に大きな力を發揮する」など、最上級の賛辞をいただいており、お客様をお迎えするにあたり、非常に力の入った設備・仕様の施設でした。



新築開店披露パーティーでの一コマです。向かって左から、大竹幸夫福井市長、市橋督会長、中川福井県知事、福田前総理大臣、熊谷太三郎議員、平泉渉衆議院議員といった顔ぶれで、みなさんのにこやかな表情が非常に印象的です。このように、地元福井の政財界に導かれ誕生したのでした。

またオープン当初より、当福井ロータリークラブ様には例会場としてご利用をいただいており、弊社会社案内の資料に、昨年こちらに取付を致しました、福井RC例会場としてのサインが映り込んでおりました。

ユアーズホテルフクイがオープンして7年、福井市内にもホテルが増え、駅東に「ターミナルホテルフクイ(S61.11月)」、順化2に福井パレスホテル(S62.3)、そしておやかた地区の再開発(現ホテルフジタ福井)の計画進む中、S61年10月に「ホテルニューユアーズ(89室)」(現フェニックスホテル)がオープンしましたが、バブル経済崩壊後にホテルニュー

ユアーズは、手放す結果となっていました。

頭取=ホテルの取締役会長を勤めておられたことから当然といえば当然ですが、初代社長から7代社長までは、全員福井銀行出身者(それも役員経験者の方など)が社長を努めており、8代市橋社長で、オーナー一家に経営が戻ったかたちとなりました。

私が、こちらに出向となった時も、私のお客様はなんの違和感もなく、「あらユアーズさんに行くんけ」と言葉をかけていただきました。これらのことからも、世間一般には「ユアーズホテルフクイ=福井銀行」という強く印象付ける結果となっていました。

そして2024年4月より、ご縁あって私が9代目として社長に就任しておりますが、明らかにこれまでとは異なるバックグラウンドとなっております。

私が社長を努めることになった経緯に少しふれさせていただきます。

わたくしは、今年丙午の年男でございます。今年の9月までは銀行籍で出向という形を取っております。

1990年4月バブル華やかに時代に福井銀行に入行、私の採用最終面接が、市橋督会長との集団面接でした。これからは国際化の時代であるとのお話を印象に残っております。

銀行でのキャリアで申しますと、融資関連、特に、リレーションシップバンキングの名のもとに、お客様先にて一緒に経営改善活動に取り組むという仕事に長く携わりました。業種的には、繊維関連、建設関連、卸売関連、宿泊関連、医療関連を1先さまあたり、半年から2年の期間担当をさせていただきました。

そのようなキャリアを買われてか、このようなミッションのもと、2017年8月にユアーズホテルフクイに出向となりました。

出向直前は、大和田支店(新店)の開設に携わらせていただきました。高木支店と中央市場支店統合・新築移転するミッションでした。(初代大和田支店長です)

北陸新幹線の福井延伸開業が迫るなかでの、福井駅前の再開発スキームと並走しての、新規ホテル開発への舵がきられたでした。私は、まさにその渦に巻き込まれ、新ホテルを運営してくれるブランドを決定して、北陸新幹線開業までにホテルを完成させるミッションに携わることとなりました。

ユアーズホテルフクイには国際ブランドのホテルを運営するノウハウは持ち合わせておりませんでした。

したがって、福井駅前にてホテルを運営してくれるオペレーターを選定し、最終候補として、日系(ホテルオークラ)ブランドはホテルNIKKO福井、外資系(マリオットインターナショナル)ブランドはコートヤード・バイ・マリオットの二者に絞り込みました。豊かさの日系、変革の外資系と対立軸を提示しました結果、「北陸初のブランドを」ということで、マリオットに運営を委託することが決定し、2019年9月30日に運営管理委託契約の締結に至りました。

一方で、2015年より宴会場を転借してわたしどもが「グランユアーズフクイ」として運営しておりましたが、2019年10月から賞味3か月後の2020年2月にオーナー様との定期借家契約の締結にこぎつけ実際のオペレーター変更の実務を経て、2020年10月より、ホテルフジタ福井のFCとしての全館運営をスタートして、今日に至っております。

しかしこの事業は、まさに契約締結の2020年2月より忍び寄ってきていた、コロナ感染症による大打撃を受けることとなるのでした。このようにして、ユアーズホテルフクイは、コートヤード福井(MC方式)の経営と、ホテルフジタ福井(FC)の運営と2つの機能を果たすこととなりました。

折しも当初完全想定外の「コロナ感染症」が真っ只中、ホテルフジタ部門の財務が悪化するなかで新ホテルの補助対象事業と既存フジタ事業を明確に分ける必要を感じ、マリオット事業を、既存のユアーズホテルより切り出す(GOOD出し)する形でYHMを新設分割して、機能に応じて担う法人格を明確に分離しました。

マリオットとの運営管理委託契約が締結されており、YHMは、ホテル床(権利床・保留床)のオーナーとしての立場で、ホテル運営に必要なヒト・モノ(すべての建物・設備)・カネ、すべての経営資源を調達し、マリオットは、オーナーが調達したすべての経営資源を利用して、自らのノウハウを駆使してホテル運営を行い収益を上げるというスキームです。したがって、具体的ホテル運営の詳細については、マリオットの専権事項となり、オーナーは口出しする権限を有していません。オーナーとマリオットは、収益にてコミットされており、その収益達成度に応じたフィーの支払いについて合意している形となります。

別途運営成績が芳しくない場合、オーナーがマリオットを管理する仕組みは留保されておりますが、基本ホテル運営の詳細に関する権限は持っていないのです。

一番の違いは、実際のこまかにホテル運営におけるサービスや価格のコンセプト、方向性などの詳細一つ一つは、オペレーターであるマリオットの分掌となるという点です。

ユアーズホテルフクイが目指すゴールは、創業者の想い=ホテル業を通して福井を豊かに発展させる一翼を担うこと。(=ユアーズism)を不变に。

マリオットブランドが提供する世界トップレベルのサービスとおもてなしを福井に、そしてホテルフジタ福井の地元福井に根差したことから「ほっとする」サービスとおもてなしで、お客様の節目に飲食をとおして「集う意義、楽しさ」充実した時間を提供して参ります。

あわせて国内外のご宿泊のお客さまに対し、地元福井の魅力を発信し、旅の良き思い出となる滞在を提供して参ります。

これからも私ども、ユアーズホテルグループをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

～開店披露パーティー～

